

平成30年度 事業報告書概要

1. はじめに

平成30年度の世界経済は、全体としては緩やかに回復した。先行きについては、緩やかな回復基調が続くことが期待された。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があるとした。

こうした中で平成30年度の当工業会の事業としては、1) 国際展示会の開催に関する事業 (JIAM2020の取り組み)、2) 家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進 (家庭用ミシン事業)、3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進、4) 知的財産権保護対策の推進 (使用技術の普及及び啓発に関する事業)、5) コネクテッドインダストリーズへの対応等を行うとともに、業界の発展に係わる諸課題の克服に向けて各種事業を実施した。

2. 活動概要

1) 国際展示会の開催に関する事業

当業界及び当業界が拘わるアパレル繊維業界の活性化と発展を期して「国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM2020)」の準備を進めるために以下の事業を実施した。

(詳細は、「議題 (6) JIAM2020の取り組みについて」で説明)

(1) 開催概要

- ①会 期：2020年5月20日 (水) ～23日 (土) <4日間>
- ②会 場：インテックス大阪4, 5, 6 A, 6 B号館
- ③主 催：一般社団法人日本縫製機械工業会 (JASMA)

(2) JIAM2020実行委員会及びWGの開催状況

JIAM2020実行委員会を1回、JIAM2020実行委員会WGを5回開催し、出展勧誘計画、主催者企画 (案)、セミナー (案) 他について検討した。

(3) 主な国内外展示会におけるJIAM2020のPR活動

JASMAブースを出展しJIAM2020への出展勧誘及び来場誘致活動を行った。

①Texprocess America 2018

- 会 期：2018年5月22日 (火) ～24日 (木)
- 会 場：Georgia World Congress Center (米国・アトランタ)

②第42回東北アパレル産業機器展

- 会 期：2018年6月23日 (土) ～24日 (日)
- 会 場：岩手産業文化センター アピオ

③TTG (台湾国際紡織繊維機械展)

- 会 期：2018年9月13日 (木) ～16日 (日)
- 会 場：台湾南港展覽館

④55th FISMA TOKYO (東京ファッション産業機器展)

- 会 期 2018年10月3日 (水) ～4日 (木) 10:00～17:00
- 会 場 東京ビッグサイト 西3ホール

⑤Taipei Innovative Textile Application Show (TITAS 2018)

- 会 期 2018年10月16日 (火) ～18日 (木)
- 会 場 台北南港展覽館 (台湾・台北)

⑥北陸ヤーンフェア

- 会 期 2018年10月17日 (水) ～18日 (木)
- 会 場 石川県産業展示館

⑦Korea International Garment Machinery and Textile Industry Fair (GT KOREA)

- 会 期 2018年11月14日 (水) ～16日 (金)
- 会 場 Korea International Exhibition Center (KINTEX)

⑧第51回大阪ミシンショー

会 期 2019年2月15日（金）～16日（土）

会 場 インテックス大阪2号館

⑨China(Dongguan)Textile & Clothing Industry Fair(DTC2019)

会 期 2019年3月27日（水）～30日（土）

会 場 Guangdong Modern International Exhibition Center（中国・東莞）

(4) 海外関係団体との交流

TITAS 2018会期中に展示会主催者（中華民国紡織業拓展会（TTF））とJIAMとTITASの相互協力について、意見交換を行った。また、GT Korea会期中に展示会主催者（Korea Sewing Machinery Industrial Association（KOSMIA））及び2関連団体（Korea Federation of Textile Industries（KOFOTI）、Korea Apparel Industry Association（KAIA））を訪問し、JIAM2020への出展勧誘、来場誘致の協力を依頼した。

(5) JIAM2020ホームページでのPR活動

日本語ページに加え、英語及び中国語ページを立ち上げ、JIAM2020をPRした。

(6) JIAM2020ニュースリリースの発信

2018年5月31日（木）、「JIAM2020 OSAKAが出展募集を開始」を発表した。

2019年2月12日（火）、「JIAM2020 OSAKA 主要メーカーが続々と出展を表明！
出展者募集中！」

2019年2月13日（水）、「Don't miss out-reserve your booth at JIAM 2020 OSAKA now!」

2) 家庭用ミシン事業

ユーザーニーズが「画一性から個性化へ」と移行しつつある環境に応え、ホームソーイングへの親しみの場を設け、家庭用ミシン市場の活性化に努めるとともに、健全な市場の拡大を図るため以下の事業を実施した。

(1) ソーイングの普及促進について

平成30年度公益目的支出計画の継続事業として、ソーイングの普及促進について検討した結果、下記の内容を進めることとした。

①第39回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

次世代を担う若い世代に、家庭用ミシンを使って、創造性豊かな作品を作る機会を提供し、「手作りの喜び」「ソーイングの楽しさ」を体験する中で、ホームソーイングの利用拡大に努めることを目的とし、第39回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業を実施した。

a) 作品の応募状況

○応募作品点数 合計 3,645点（前回比 88.5%）

○応募校数 合計 526校（前回比 88.1%）

b) 審査経過

○第一次審査

日 時：2018年（平成30年）12月11日（火）～12日（水） 東京都内

○第二次審査

日 時：2018年（平成30年）12月22日（土） 東京都内

○審査結果

作品賞、学校賞、入選作品数一覧は、JASMAホームページ「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」に掲載。

c) 表彰式等

結果発表は2019年2月に報道関係へニュースリリースを発表し、入選作品表彰式は2019年3月2日（土）、13時30分より日本工業倶楽部で開催した。

②第40回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて

節目となる第40回について新たな部門を設け、テーマは「スポーツ観戦に向けた応援グッズや応援コスチューム」として作品を募集することとした。

③「ミシンの日」の事業

平成30年度以降のミシンの日のPRに関する事業等について、関係者と意見交換を行った。

④2018日本ホビーショーへの出展

会期：2018年4月26日(木)～28日(土) 10:00～18:00 (最終日は17:00)

会場：東京国際展示場(東京ビッグサイト)

内容：第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール優秀作品の展示及び会員メーカー5社によるソーイング体験コーナー実施等

⑤経済産業省子どもデーへの参加

日時：2018年8月1日(水)～2日(木) 10:00～16:00

場所：経済産業省 別館1階会議室

内容：ミシンの説明と及び第39回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールのPR、会員メーカー6社によるソーイング小物作り体験を実施等

⑥ミシン販売業界との連携強化

昨年作成した「技能士シール」(ミシン販売店に技能士「国家検定資格」がいることをアピール)、展示台等を装飾するための販促物「テーブルスカート」を機関誌、JASMAホームページや展示会等でPRした。

⑦ミシンを使った社会貢献

日本ホビーショーでの体験コーナー参加費の一部を、「社会福祉法人中央共同募金会」へ義援金として寄附することとした。

(2) 市場の活性化について

①家庭用ミシン市場の流通適性化を図るため、現行販売機種、新機種、廃機種を把握し、平成30年4月1日及び10月1日現在の一覧表を作成し流通団体へ通知した。

②市場ニーズに的確に対処するため、平成30年1月～3月分、4月～6月分、7月～9月分及び10月～12月分の家庭用ミシン国内販売機種について価格帯別の流通調査を実施し、調査結果を関係会員へ配布した。

③家庭用ミシン流通市場等に関する課題と普及促進等について、関係団体と意見交換を行った。

④消費者及び地方公共団体、消費生活センター等からの問い合わせ、ミシンに関する各種の相談、照会に対処した。

3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進

工業会と会員の発展のためその活動を広く周知させるとともに、工業会活動のさらなる活性化を図り且つその効率化を推進するため、以下の事業を実施した。

(1) 広報活動について

①政府が公表する各種統計を整備して、JASMA統計(ミシンの生産・輸出入)として、2018年分を毎月発行するとともに、工業会の事業活動をはじめ関係諸機関の動向を取りまとめたニューズレターを毎月発行した。

②外部に対して工業会の活動等を広報するため、JASMA会報を年4回発行するとともに、インターネットホームページの更新・充実に努め、工業会の事業活動等について広報を行った。

③日英版「工業会の概要」の修正版を作成し海外展示会等で配付した。

(2) 内外関係機関等との交流及び協力に関する事業

①関係機関・団体との連絡調整について

ロボット革命イニシアティブ協議会との協調を図るとともに、経済産業省並びに関係官公

庁からの依頼による調査の実施、繊維関係団体との情報共有、資料の交換等を実施した。
更に、当工業会が会員として加入している関係団体との協力関係の継続を図った。

②軽機械センターの運営に関する協力について

海外との交流、市場動向フォロー等の事業を進めるため、その一環として軽機械センター（ベルギー・ブリュッセルセンター及び中国・北京センター）の運営に協力するとともに、市場動向等に関する情報を収集し会員へ提供した。

③海外関係機関との交流及び協力について

a) TTG（台湾国際紡織繊維機械展）会期中（2018年9月13日（木）～16日（日））に以下の関係機関と意見交換並びにJIAM2020への出展を要請した。

○Taiwan Sewing Machinery Association & New Taipei Sewing Machine Association

○Taipei Sewing Machine Association

b) Texprocess 2019に向けたJASMAパビリオン（7社、99㎡）の募集を行った。

（3）工業会活動の効率化の推進（工業会の収支バランスの回復に向けた対応）

①工業会活動の改革・見直しについて

②会員の負担軽減の検討について

③平成30年度の正会員と賛助会員の会社概要調査結果の取りまとめを行った。

（4）工業会活動の確実な実施

①公益法人制度改革への対応等について

平成29年度公益目的支出計画実施報告書を提出するとともに、平成30年度公益目的支出計画の継続3事業（家庭用ミシン事業、統計・調査事業、特別出展事業）について検討した。

②生産性向上要件証明書の発行について

中小企業等経営強化法の固定資産税の軽減措置として、縫製機械等を対象とした証明書を598件発行した。

（5）正会員、賛助会員の充実

内外展示会のJASMAブースでのPR活動及び中小企業等経営強化法に関する証明書の申請受付等に際して、工業会活動内容やメリットを広報し会員獲得に向けた取り組みを行った。

（6）2018年度（平成30年度）「縫製機械整備作業」技能検定に向けた取り組み

（7）コネクテッドインダストリーズへの対応

政府が進めるコネクテッドインダストリーズに対応して、当業界並びに関係業界を含めた生産工程のデータ連携に取り組み、縫製機械製造業の競争力を高めることを目的に、当業界内に設置した「共通基盤ネットワーク研究会」で取り組み方を検討し、報告書（案）を取りまとめることとした。

①共通基盤ネットワーク研究会設立準備会

日 時 2018年5月30日（水） 13：30～16：45

場 所 航空会館

内 容 1)事例紹介：「木工機械分野の連携加工システム」について

②第1回共通基盤ネットワーク研究会

日 時 2018年7月27日（火） 14：00～16：30

場 所 東海大学校友会館

内 容 1)事例紹介：「RRIの全体概要とIoTによる製造ビジネス変革WGの活動」

2)事例紹介：「ファッションテックの取り組み事例」

3)事例紹介：「センチュリーグループの取り組み事例」

③第2回共通基盤ネットワーク研究会

日 時 2018年9月6日（木） 14：00～17：00

場 所 東海大学校友会館

内 容 「CAD/CAMメーカーによるプレゼンテーション」

1)事例紹介：「CAD仕様書 メーカーからみたCT40対応標準化について」

2)事例紹介：「CAD関連データ連携について」

3)事例紹介：「川上製作所の取り組みについて」

④第3回共通基盤ネットワーク研究会

日 時 2018年11月13日（火） 14：30～17：00

場 所 東海大学校友会館

内 容 「ミシンメーカー5社の生産工程のデータ連携の考え方、取り組み方について」

⑤第4回共通基盤ネットワーク研究会

日 時 2019年1月25日（金） 15：00～17：00

場 所 東海大学校友会館

内 容 「各メーカー等の生産工程のデータ連携の考え方、取り組み方について」

4) 使用技術の普及及び啓発に関する事業

(1) 知的財産権保護対策について

海外製品による知的財産権侵害品の流通実態の把握に努め、適切な対応を行い市場の健全な発展を図るため、以下の事業を行った。

①世界市場を対象とした「定期的模倣実態調査」を実施した。

a)侵害件数 11件

b)権利別侵害件数

○意匠権 1件 商標権 4件 ○特許権 6件

c)発見国別件数

○ブラジル 1件、○エクアドル 1件、○中国 5件、○台湾 2件、○シンガポール 1件、
○日本 1件

②知的財産権保護対策委員会セミナーの開催

日 時 2018年11月28日（水） 14：00～15：30

場 所 航空会館

テーマ 「模倣品・海賊版対策の相談業務に関する年次報告及び模倣品対策室事業・
施策の概要について」

講 師 経済産業省 製造産業局 模倣品対策室 室長補佐 望月 孝洋 氏

③政府関係機関の日本貿易振興機構（北京センター、上海センター、ソウルセンター）等の
情報を入手し、随時、会員企業へ提供した。

③「国際知的財産保護フォーラム・模倣品対策 情報収集グループ」の会合へ参加し、関係
団体等と情報を交換した。

(2) 外部技術視察

日 時 2018年11月29日（木） 午後

場 所 ファナック株（山梨県忍野村）

概 要 ファナック株の3事業（FA、ロボット、ロボマシン）の製造工場、評価試験場
及び修理工場を見学した。参加者は当工業会関係者16名（事務局含む）であった。

(3) 電気用品安全法の技術基準体系の見直しに対応するため、他団体の分科会に参加し情報を
収集した。

(4) 内外の環境規制に関する情報を収集した。

5) 生産、流通等に係る調査及び企画の立案・推進に関する事業

(1) 調査事業について

①海外調査

日本貿易振興機構及び軽機械センター（ブリュッセル、北京）等との連携を図り、主要国の需要動向、経済動向等について情報の収集に努め、会員へ提供した。

②国内調査

国が公表する政策、生産、国内流通、輸出入統計並びに諸団体が実施する諸統計資料等を収集整理分析し、「JASMA統計」「ニュースレター」等により会員等へ情報提供した。また、関係当局からの諮問あるいは関連団体、他業界からの照会等に対処した。

(2) 統計事業について

平成30年度公益目的支出計画の継続事業（統計・調査事業）として、ミシンに関する経済産業省の生産動態統計及び財務省貿易統計を毎月入手し、整理・分析を行い、定期的に会員へ提供するとともに、一般に対してホームページで公表した。

(3) 需要見通しについて

内外の経済動向、市場環境、在庫等を勘案し、2019年（平成30年）1月～12月の需要見通しを2019年2月に策定した。

(4) 工業用ミシン・部品・関連機器事業について

情報社会、環境社会及びグローバル化の進展に対し的確に対応し、市場の活性化に努めるとともに、業界の健全な発展を図るため、以下の事業を実施した。

①国内及び海外市場について、日本機械工業連合会から週報等を定期的に収集するとともに、日本貿易振興機構及び軽機械センター（北京、ブリュッセル）から海外情報を収集し、定期的に会員へ提供した。

②グローバル化に対応し国際化に向けて対応するため、日本機械工業連合会の機械安全標準化に関する国際規格等（ISO/IEC）、日本機械輸出組合のWTO等の国際機関の情報及びEPA、FTA及びTPPなどの貿易協定に関する情報、国際連絡会議等で欧米及びアジア地域の情報を収集し会員へ提供した。

6) 標準化の推進に関する事業

(1) 国内規格（JIS規格等）について

①「JIS C 9335-2-28（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性—第2-28部：ミシンの個別要求事項）は、電気用品安全法の技術基準体系等の見直しに伴い、一般財団法人日本規格協会のJIS原案作成公募制度を利用し改正原案を作成し承認された。

②関連団体との交流を図り、規格に関する情報の収集を行い、随時、会員企業へ提供した。

(2) 国際規格（ISO/IEC規格等）について

国際規格活動（ISO/TC148・ミシン）を行い、工業用ミシンの国際規格（ISO 10821）の情報収集を行うとともに、国際標準化協議会及び一般社団法人日本機械工業連合会との交流を図り、機械安全（IEC/TC44）に当業界の専門家が参加し国際規格等の情報収集を行った。

7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 労働力の確保に関する事業について

業界全般の労務状況について意見交換を行った。

(2) PL対策について

損害保険会社と団体PL保険契約を締結し対応した。

3. 会員

1) 会員の異動

2018年7月26日付けで正会員1社が退会した。

2) 会員数

	正会員	賛助会員	合 計
2018年 6月 8日現在	35社	9社1団体	45社・団体
退 会	1社		
2019年 3月31日現在	34社	9社1団体	44社・団体